

今我々にできることは・・・。

座間支部 棕 茂廣

3月11日 PM2:46 M9.0の大地震と津波による、未曾有の大被害が東北・関東の広域におよびました。

偶々、神事協で企画業務委員会を3時より開催する為に、各委員さんが集合している最中でした。皆さんご存知のとおり、事務局はRC9階の2階部分にありますが、かなりの横揺れが3分程度続き船酔い状態であり、このまま倒壊するのではと思った方が多かったのではないのでしょうか。現実的に外壁や内壁にクラックが数か所が入ってしまいました。

その後の余震により、船酔い状態が続きましたが、5時に散会しました。交通機関がストップし、横浜駅から徒歩で協会までこられた委員さんによると、「道路上に窓ガラスなど障害物が散乱し、又、建物から避難された方が多く、歩きづらく、危険と不安でいっぱいだった。」とのこと。

その後、各委員さんは車に便乗し帰宅しましたが、当事務所まで通常では1時間以内で着く距離ですが、約5時間かけてやっと到着致しました。

次の日にガソリンを給油しようとしたら給油出来ず、2日後に開いているスタンドをやっと見つけハイオクを給油しました。(普通のガソリン車ですがハイオクしか無いと言われ。)その上、計画停電でパソコン・コピー機等OA機器が使えないで仕事が出来ず、催促の電話で頭を悩ませております。

皆さんも多かれ少なかれ、同じように苦労されていると思います。ましてや被災地の皆さまのご苦労は図り知れません。そこで、個人的に今できることは、第一が我慢をすること、第二が冷静に考えることではないのでしょうか。第一我慢とは、普通の生活より少し不便にすること、品物を貯めこまないこと、「少しペースダウンしましょう」と言うメッセージとしてとらえる事ではないでしょうか?そのことが、最大の援助になることを知るべきです。少し余裕のある方は、現地で必要な物や人、家屋の提供等出来ることを各々考えるべきであると思います。

長期に渡る援助が必要となることも考えなければなりません。第二は被災者には申し訳ございませんが、日本国はどこにいても必ず地震の洗礼を受け、被災者、地震難民になる可能性が高いことを意識の片隅に置くべきです。

今回の場合は津波被害が大きく、地震による建物被害の様子が現在では不明ですが、神奈川県でも大地震があれば、同じような被害状況となるが、被害内容は津波より、建物倒壊及びインフラ被害が大きくなることは明らかであり、首都圏の機能はマヒし、特に情報機能の喪失は、デマ等流言飛語が飛び交い不安材料をあおりパニック状況になり得る。まして経済損失は年間の国家予算規模であろうと予測されている。又、避難者の数は想像に絶する数に膨れ、避難場所すら確保出来ないことが現実となるだろうと予測されております。要するに、このような状況の地域に暮らしていることを考えるべきであり、知らせるべきではないのでしょうか。

建物の全壊や損壊は命、生活が奪われることも知っておくべきです。

次に、建築に携わっているものが今出来ることは何か?

基本に立ち戻り、先ず安心、安全を第一に考え、日々研鑽し、確実な仕事をする事だと思います。

今後、被災地では、復興に向かって数々の問題を抱えながら進むと思いますが、その過程で我々の仲間の設計者が携わる事となるが、上記の心構えで臨むことと思います。

個人的には、応急危険度判定や被災度区分判定等の講習会の資料を再考しておりますが、お手伝い出来るのでしょうか。又、地元の座間市には、耐震診断等の建築相談への対応を座間支部で行う旨を申し入れました。(2件あり対応中)

～歴史的建造物を訪れて～

Vol.45

下町の銭湯「荒井湯」

川崎支部 恩田 耕爾

墨田区本町2丁目バス停前に、昔ながらの銭湯「荒井湯」があります。春日通りに面し厩橋の先にちょっと奥まっているので見過ごしやすいので注意する必要があります。ここには、スカイツリーのペンキ湯が描かれているということで、金曜日の午後に訪ねてみました。

春日通りから細い道を少し入ると、正面にコンクリートの唐破風の入り口があり昔ながらの風情が感じられます。正面入り口と下足箱の上には漆喰の絵が描かれている。正面入り口は波の上を千鳥が飛び、下足室に上壁には鶴が大入り袋をくわえて飛んでいます。入り口部分はコンクリートですので米軍の空襲の戦火にも耐え今日まで残っています。中に入ると入り口を



春日通りから見える玄関部分



漆喰の上に描かれた鰻絵(千鳥)

背に男湯と女湯の間に番台があり、白髪のお婆ちゃんが愛想良く座っています。料金は大人400円です。午後3時半、開店したばかりという



下駄箱の上の漆喰の絵(鶴)



脱衣場(天井は2重折上げ格天井)

のにざっと見て30名ほどの人が脱衣室、浴室に入っています。3間×3.5間の脱衣室で着替えると、威勢のいい職人さん風の後姿に、立派な刺青が見えます。肩口から尻の膨らみまで豪勢なものです。番台のおばちゃんから石鹸等を買って、脱衣を済ませなかに入ると白を基調にした内装が眼に入ります。天井は男湯と女湯の中央部分が高く、明るい日差しが入ります。床、壁はタイルで天井は木にペンキ仕上げです。簡単

に汗を流し、一番ぬるい湯に浸かると、下町の細身のおじさんが話しかけてきます。「今日はニコニコ入浴の日だよ」、「あんた知らなかったの?」「毎週、無料なので孫を連れたりしてくる。」、「墨田区役所で入浴券をくれるんだ」次から次へと話が止まらない。ぬる湯、ゲルマニウム鉱泉のバイブラ湯、熱湯と周り、脱衣場に戻ると、気がつかなかったが立派な格天井から大きな扇風機がぶら下がっていて涼しい風が来ています。脱衣場は戦災で焼けたので、昭和25年に再建したようですが、それでもなかなか昔の暖かい感じがします。脱衣ロッ



男湯の洗い場（中島絵師によるスカイツリー）。
左の女湯には赤富士の一部が見える

カーの上には水槽があり熱帯魚が泳いでいます。縁側には石灯籠と池があり、ここにも錦鯉が泳いでいました。番台のおばあちゃんに写真を撮らせて貰えないかというのと、



番台から見て左側女湯、右側男湯

「だめだめ、いまもっと若いのが来るから、それにしな」という。しばらくすると、若い、年の頃50代から60代の美人のおかみさんがやってきました。番台に登るのを見て1枚写真を取らせて頂きました。「恥ずかしい」というので顔は小さく撮りました。今、無縁社会など言われ始めたこの頃ですが、銭湯は庶民の地域コミュニケーションの場となって今も活躍していました。歴史的建造物として登録され、これからも残ってゆくことが期待されます。



銭湯を出ると 春日通りの源光寺屋根越しに見えるスカイツリー
春日通り越しにスカイツリーが目の前です。

※男湯はスカイツリー、女湯は赤富士。絵師は中島。ローマ字のサインがあります。

※鍔絵で使われる絵柄は鶴と亀が多いです。鶴と亀は長寿の象徴として「鶴は千年、亀は万年」といわれ、縁起がいいのでよく描かれています。ここでは千鳥が入口にいる。

※50年が経過しており、現在では珍しくなった技術や技能が残されています。しかも現在も庶民に利用されていることから文化財登録制度を活用され、長く地域に残したい建築物です。

※昔の銭湯は脱衣、洗い場までは男女別ですが、江戸時代はそこから先の浴槽は男女混浴だったようです。庶民は湯船に浸かりながらお見合いなんかもしたようです。

閻魔大王フォーラム開催

秦野支部 田代 茂夫



丹沢山塊への登山口として知られる秦野市蓑毛に大日堂があります。大日堂は他に不動堂、十王堂（地蔵堂、閻魔堂、茶湯殿などの名称を持つ）また、入口には仁王門などから構成され、それらを総称して大日堂と呼ばれています。建物の中には平安期あるいは江戸期と推定されている大日如来、十王像などいずれも貴重な仏像が安置されています。境内地は最盛期には相当大規模な地域信仰の場として栄えていたようです。残念ながら現在では老朽化が進み、建物の修復が急務という状態です。当時の姿を再現することは無理でもなんとか現状を回復し、大切な文化遺産を守る必要を感じました。同じような意識を持つ団体と協力し平成21年8月「秦野みのげ文化の会」が生まれ、そこから本格的な保存活動がはじまったのです。たまたま秦野に部材で保存されている明治期の洋館、梅原家の再建を目指す「秦野の鹿鳴館再建の会」がこの蓑毛を候補地にしたのでした。また、蓑毛地区の地域興し団体がまとまり「蓑毛地区活性化検討委員会」を結成しました。

そんな矢先、昨年建築士会を通じて文化庁より地域伝統文化総合活性化事業に選定されたのです。22年9月頃から今までの活動を12月までに報告書にまとめ、平成23年2月26日（土）「閻魔大王フォーラム」開催に至るのです。主催は建築士会中支部ですが事務所協会中ブロックをはじめ、10団体の後援をいただきフォーラ

ムを実現することができました。

基調講演には静岡県職員で大分県の由布院観光総合事務局長として活躍し、静岡県内でも各地で町おこしの仕掛けを携わってきた溝口久氏が体験に基づいたまちづくりのヒントを紹介し、続いて東海大学観光学部長、松本亮三氏が調査した蓑毛の歴史、文化について画像を見ながら講演をおこないました。パネルディスカッションでは同じく東海大学建築学科の加藤仁美教授をコーディネーターに迎え、松本教授、「秦野の鹿鳴館再建の会」会長、紫藤邦子氏、（社）建築士会技術支援委員会スクランブル調査隊隊長、森山恒夫氏、地元秦野青年会議所理事長、佐藤達也氏がパネリストに、そして基調講演をされた溝口氏と大日堂の管理寺、宝蓮寺、礼美住職がオブザーバーとして加わり、歴史文化の継承、まちづくりの提案などが議論されました。最後の質疑応答では会場から大日堂の文化遺産をどう守っていくか、もっと開放していく必要があるのでは等の質問が出され保存の難しさを感じさせられました。蓑毛に温泉は可能か、との質問に地域の代表者は千メートルから二千メートル掘る気になれば必ず出る。と意気込みを示すなど熱い討論のうち閉会の午後九時を迎えることになりました。

来場者のなかには地元でも初めて知ることも多かったとの声も聞かれ、今後の保存活動に大きな励みになったフォーラム開催でした。



社団法人神奈川県建築士事務所協会 **第54回通常総会 (平成23年度予算総会) 開催報告**

日 時 平成23年3月25日 (金)
 午後3時30分～午後4時45分
 場 所 横浜市技能文化会館 2 F
 多目的ホール (横浜市中区万代町2-4-7)

○司会者

根岸総財務委員長の司会により定刻通りに開会。3月11日に発生した東日本大震災を受け、出席者全員で黙祷を捧げる。

○開会の辞 吉川副会長

○建築士事務所憲章の朗読

佐藤総財務副委員長による建築士事務所憲章の朗読。

○会長挨拶

○定足数

司会者により定足数確認 (平成23年3月25日現在)
 会員数 786名 (過半数は394名)
 議場出席者 62名
 委任出席者 437名
 出席者総数 499名

以上、定款第24条による総会の成立を報告。

○正副議長の選任

司会者は議場に諮り、司会者一任の承認を得て、正副議長を選任。

議長 湘南三浦支部 加藤清支部長
 副議長 横須賀支部 安田孝至支部長
 を選任する。

○議事録署名人の選出

議長は、議事録署名人の選出について議長に諮り、議長一任の承認を得て指名選出する。

議事録署名人 会 長 上原伸一氏
 〃 横浜支部 小渡佳代子氏
 を選任する。

続いて議長は、第1号議案、第2号議案は関連事項につき一括して審議する旨報告し議事を進める。

○第1号議案 平成23年度事業計画案承認の件
提案通り承認

○第2号議案 平成23年度予算案承認の件
提案通り承認

○平成23年度収支予算 (案) の概要 (手元の資料参照)

○その他

議案書に誤りがあったため、三杉専務理事が口頭により説明、その場で訂正していただくようお願いをした。

〈訂正箇所〉

議案書7頁 平成23年度・一般会計収支予算書 (案)

前期繰越収支差額 (G) 増減

【正】 7,743,000

【誤】 7,732,000

次期繰越収支差額 (F + G) 増減

【正】 △18,399,000

【誤】 △18,310,000

○閉会の辞 芝副会長

長時間に渡り、慎重なるご審議をいただきましてありがとうございました。

予算のない厳しい状況ではありますが、そのような中でも活発な活動しようという強い思いを持って各委員会の皆様が動いて下さっております。会員の皆様、所員の皆様におかれましては、積極的に当会の活動にご参加いただきますようお願い申し上げます。 本日は、ご出席まことにありがとうございました。



委員会活動報告

技術調査委員会

委員長 西倉 哲夫

平成23年度の技術調査委員会の活動が終了いたしました。当委員会ではこの2年間かけて活動してきたことは、大きく分けて3つに分類できます。まずひとつ目が「建築における環境問題について」白石委員を中心にデーターを収集・検討し、家の燃費計算シートを作成していただきました。CO₂の使用量を把握しエネルギー消費量を算出するものです。このことで環境に配慮した効率の良いエネルギー消費を考えていこうと言うものです。二つ目が工事監理ガイドラインの作成です。玉田副委員長を中心に編集・作成していただきました。「工事監理チェックリスト」と題して非木造の1000㎡程度の建

物用に建築・電機・給排水衛生空調・昇降機等の4工事編ごとにまとめて有ります。三つ目は「仕様書等の改定について」荒谷委員を中心に特記仕様書（意匠）と構造標準図（RC造、小規模S造）の改定をまとめていただきました。以上の三つの成果については、本会ホームページの会員のページに掲載して有りますので、会員の皆様におかれましては積極的に活用していただけるよう願っております。そして、運用に当たって何かご意見があれば、どしどし委員会にお寄せいただけましたら幸いに思います。どうぞ今後とも技術調査委員会を暖かく見守っていただけますよう宜しくお願い申し上げます。

賛助会新入会員紹介

株式会社E&CS （担当：桶屋 眞士）

平成22年10月入会

住所：〒102-8332 東京都千代田区三番町2番地

TEL：03-5276-2997 FAX：03-5276-2981

株式会社E&CS（イーアンドシーエス）は、環境と建設のソリューションを社名とし、「トグル制震構法」を使った耐震ソリューション事業を中心に事業展開しています。

トグル制震構法は耐震改修や新築建物に取付ける制震装置です。地震時の建物の変形を、テコの原理（トグル機構）で増幅してダンパーに伝え、地震エネルギーを効率良く吸収します。建物にはいる地震エネルギーを小さくでき、建物の損傷や家具の転倒などの被害を低減します。

旅のクイズ 第9回

問題

この単線の線路は何処にあるでしょう。また、この車両はどこを走るために造られたでしょう。

答えをメールまたはFAXにて神事協事務局までお寄せ下さい。正解者の中から抽選で御一人に図書券を差し上げます。（今回より図書券は1000円分の進呈とさせていただきます。ご了承ください。）

（FAX：045-212-3807 E-mail：noguchi@j-kana.or.jp）

※締め切り：平成23年4月20日（水）当選者は5月号にて発表予定です。

※広報情報委員と事務局員及び家族の方のご応募はご遠慮ください。

尚、前回（3月号）の正解と当選者は下記の通りです。

正解：城ヶ島大橋

当選者：相模原支部（有）福永建築設計事務所 福永 憲一様



会員異動報告	
入会	
横浜支部	
(有)大内工務店一級建築士事務所 〒241-0004 横浜市旭区中白根4-12-5 TEL.045-954-1555 FAX.045-954-1583	大内 利一
退会	
横浜支部	
(有)コル建築計画事務所 板場三四建築設計事務所	益野 幸治 板場 三四
変更	
相模原支部	
(有)天久設計 (所在地変更) 〒252-0302 相模原市南区上鶴間5-1-15 104号 K A Z設計・工房 (事務所名変更) (株)K A Z設計・工房 T E R R A建築デザイン工房一級建築士事務所 (所在地変更) 〒252-0303 相模原市南区相模大野8-2-6 第一島ビル505 (TEL・FAX変更) TEL.042-712-5091 FAX.042-712-5092	
県西支部	
竹広林業(株)一級建築士事務所 (会員名変更) 加藤 一郎	
共済会友異動報告	
退会	
川崎支部	
佐々木 文夫	
賛助会員異動報告	
入会	
郡リース(株) 横浜支店 〒231-0062 横浜市中区桜木町3-8横浜塩業ビル TEL.045-662-8541 FAX.045-640-1680 【代表者】鈴木 稔 【担当】平澤 友和 【営業内容】軽量鉄骨による「システム建築」の設計・施工・リース その他附随工事	
退会	
(有)ドゥーイングリハウス	

会 勢		平成23年3月11日現在			
支部名	平成22年3月末日	現在	入会者	退会者	増減
横 浜	270	270	15	15	0
川 崎	94	91	3	6	-3
横 須 賀	57	55	0	2	-2
湘 南 三 浦	22	21	0	1	-1
藤 沢	21	22	2	1	1
鎌 倉	31	32	1	0	1
茅ヶ崎葉川	16	16	0	0	0
平 塚	21	21	2	2	0
伊 勢 原	8	8	0	0	0
秦 野	17	18	1	0	1
大和綾瀬	22	22	2	2	0
厚 木	36	37	2	1	1
座 間	11	13	3	1	2
海 老 名	14	13	0	1	-1
愛 川	8	9	1	0	1
相 模 原	87	88	4	3	1
県 西	51	49	2	4	-2
合 計	786	785	38	39	-1
賛助会員	65	68	8	5	3

4月の行事予定

4月1日	公益法人制度改革対応専門委員会
5日	広報情報委員会
6日	新規開設建築士事務所講習会(会場:神事協会議室 ※3月15日延期分)
7日	総財務委員会
8日	設備についての勉強会 電気設備編 1日目(会場:神事協会議室)
11日	設計監理指導委員会
12日	木造特別委員会
13日	賛助会事業計画検討会
14日	監査会
15日	企画業務委員会
	設備についての勉強会 電気設備編 2日目(会場:神事協会議室)
18日	かながわみどりの家補助金制度の説明会(会場:横浜市開港記念会館)
19日	技術調査委員会
	「建築におけるほんとうの環境問題とは」勉強会(会場:神事協会議室 ※3月17日延期分)
20日	理事会
22日	設備についての勉強会 衛生設備編 1日目(会場:神事協会議室)
25日	ブロック支部委員会
28日	設備についての勉強会 衛生設備編 2日目(会場:神事協会議室)

編集後記

このたび未曾有の大災害の発生により命を落とされた方々に哀悼の意を捧げますと共に、被災された多くの皆様に心よりお見舞い申し上げます。

地震は広い範囲に影響と課題を出しました。津波は想定外の高さではあったが、もしかしてあるかもしれない対策が行われなかったことが甚大な被害になったと防災専門家が言った。さらには原発の被害の原因も水害により安全機能が壊され世界が見守る非常事態にまでなっている、もしかしての対策がされていなかった結果ではある。耐震補強がされた建物には効果が見えたが、震源地から離れた都心でも長周期に対する想定がもしかしての範囲であれば数多くの高層の建築物の崩壊がある、我々建築設計者の責任は重大である。

未曾有の災害復興だけでなくこれからの日本国の生き方が問われ、世界の国々が見ている、日本の創生、生きる道を実践する時が来たと思います。

被災地の日も早い復興と、被災された方々が早期に落ち着いた生活に戻られることを心から祈念申し上げます。
(相模原支部 竹尾秀一)

かながわ 平成23年4月号(通号354号)

発行 平成23年4月1日(毎月1日発行)
 発行人 上原 伸一
 発行所 社団法人 神奈川県建築士事務所協会
 〒231-0032 横浜市中区不老町3-12
 第3不二ビル2F
 TEL. 045-228-0755
 FAX. 045-212-3807
 印刷所 株式会社 柏苑社

・担 当 副 会 長 小林 忠志
 ・広 報 情 報 委 員 長 佐藤 光良
 ・広 報 情 報 副 委 員 長 吉田 宣郎
 ・広 報 情 報 委 員 稲葉 勉
 ・ 恩田 耕爾
 ・ 後藤かをり
 ・ 竹尾 秀一
 ・ 野口 友弘
 川島 良夫
 遠藤 世一
 小泉 厚
 杉崎 雅治
 新倉 良一

- 150、175、200、250、300の5サイズにメニュー拡大!
- 150、175、300が新登場!
- 設計・施工標準仕様書 (Ver.2.0) をご利用下さい。

150~300mmまで 『ダイアフラムがいらない!』

merit

1 経済設計

XY各方向で最適なはりサイズ設計可能

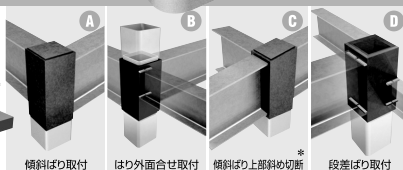
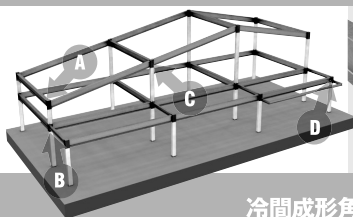
2 鉄骨品質向上

溶接継手の食い違い・仕口のずれ解消

3 鉄骨加工省力化

ダイアフラム加工不要・ハンチ加工不要

4 フレキシブルな はり接合部設計



* 評定条件・設計条件等があります。詳細はお問合せ下さい。

冷間成形角鋼管柱向け柱はりノンダイアフラム接合部材

NDコア®

部材記号	製品規格		製品種類 (標準タイプ)				適用柱・はり*	
	断面寸法		Sタイプ		Lタイプ		標準タイプ 以外長さ	柱 (材質)
	B×B×t*1 (mm)	t*2 (mm)	製品記号	長さL (mm)	製品記号	長さL (mm)		
ND150	150×150×16.5		ND150S	250	ND150L	350	50mm ピッチで 対応可能	同径(B) サイズの BCR295 STKR400
ND175	175×175×17.0		ND175S	300	ND175L	400		
ND200	200×200×22.0	(25.0)	ND200S	350	ND200L	450		
ND250	250×250×24.0	(25.0)	ND250S	400	ND250L	500		
ND300	300×300×29.0		ND300S	450	ND300L	550		

*1 (財)ベタリビング評定 (CBL SS004-10) の製品断面寸法。*2 (財)日本建築センター評定 (BCJ 評定-ST0160-01) の製品板厚のみ() 数値。

*3 設計・施工標準仕様書 (Ver.2.0) をご参照下さい。BCJ 評定、ベタリビング評定いずれの製品も使用可能です。



日鐵住金建材株式会社 <http://www.ns-kenzai.co.jp/>

本社：〒135-0042 東京都江東区木場二丁目17番12号 SAビル 建材営業部：TEL03-3630-2138 FAX03-3630-2159

賛助会会員の皆様へ 以下大募集中です!!

- ◆賛助会ホームページ <http://navi.nikkori-house.jp/kanagawa-sanjokai/Default.aspx>
(「神奈川県建築士事務所協会HP」のトップページ→「神奈川賛助会」から入れます)
本会の先生方限定のお得な情報(会員様限定の割引価格などなど)をHPに掲載(掲載費無料)

◆会報『KANAGAWA』原稿

こちらのページを新商品、新工法、また企業のPRにご活用ください!! (掲載費無料)

お問い合わせは…担当：広報委員 西村真一 (三洋工業株式会社)

TEL：03-3685-3452 Mail：shi-nishimura@sanyo-industries.co.jp